

1. 授業の基本情報

本報告では教育学部で開講された「教育相談論」（通年、2単位）について、新型コロナウイルスの影響を受けて遠隔授業を行った授業について対象とする。

本授業の最終回にて、受講生を対象として、教育相談論最終授業評価に関するアンケートを Microsoft Forms を用いて行った。その中で「あなたは教師になりたいですか？それは授業当初から変わりましたか？」という設問を設け、その理由を自由記述してもらった。受講生 180 名に対し、51 名の回答があった。

2. 授業評価の内容

以下、全体の結果と回答を照らし合わせながら考察を行っていききたい。

全体の結果は「授業当初から変わらずはい」と教員の志望を変わず持っているのは 39 名（76.47%）であり、「授業当初から変わらずいいえ」の 3 名（5.88%）を大きく上回っている。変化がない回答をした学生はあまり授業の影響を受けていないと考えられる。それに対し、「授業当初から変わっていいえ」が 4 名（7.84%）いるとはいえ、「授業当初から変わってはい」と答えた学生が 5 名

（9.8%）いることは大きな意味を持つと考えられる。以下自由記述を含めて考察していききたい。

「授業当初から変わらずはい」と答えている学生の多くは「教えることが楽しいと思うから。」、「小さい頃から教師になりたいと思っており、この授業を受けても変わらなかったから。」、「子どもと関わる仕事をしたいから。」、「教師という職業に魅力を感じるから。」といった理由を書きしており、教師志望の意欲を強く持っていると考えられる。

しかし、「問題行動を起こす児童生徒がいても、様々な対処方法があることを学べたため、不安度が授業当初から下がり、より教師の仕事に魅力ややりがいがあると感じるようになったから。」、「変わらず教師になりたいと思うが、自分ならどう関わっていくのが最

善なのか、と考え、少し負担に感じることもある。」、「この授業で実際に事例のようなことに直面したときに自分が対処できるのか少し不安になったが、それで教員への思いが変わるほどではなかったから。」といった授業内容に影響を受けている回答も見られ、教師の仕事について改めて考えていることが伺える。

次に「授業当初から変わらずいいえ」と答えている学生はまず「私はもともとスクールカウンセラーになりたいと考えていたから。」といった教師よりほかの職種を考えていることが挙げられる。また「教師は素晴らしい仕事であり、誰にでもできる仕事ではないことは分かっているが、給与面や待遇があまり自身の価値観とは会っていなかったため。」といった教師の仕事について理解はしていることが分かる。

「授業当初から変わっていいえ」と答えている学生も「授業する以外にも個々の生徒に配慮したり、行動したり、やらなければならない、気を遣わなければならないことが多いと感じたから。」、「もともと教師になりたいという願望は強くなかったが、この授業を通してたくさんの事例に触れ、大変なこともたくさんあると再認識し、不安が強まったから。しかし、まだなってみたいという思いもある。」といった教師の対応の難を感じている。

「授業当初から変わってはい」と答えている学生は「困っている人を助けたいという志向になることができたから。」、「教育相談論の話し合いを通して、子どもたちに寄り添う仕事の魅力を感じたから。」、「様々な問題があり大変な仕事だとも思ったけれど、今回の授業でほかの先生と協力したりしていけば何とかやっていけそうだと思って、それならやっぱり小学校で働いて子供たちと関わりたいと思ったから。」といった教師の仕事に興味が出てきていることを述べている。

3. まとめ

総じて教師の仕事への理解は従業を通じて進んでおり、一定の理解は得られたと考える。